

事業報告書

平成 30 年度

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

地方独立行政法人佐世保市総合医療センター

目 次

1 現況	3
① 法人名.....	3
② 所在地.....	3
③ 役員の状況.....	3
④ 設置・運営する病院.....	3
⑤ 職員数.....	3
2 基本的な目標	3
3 事業の統括	5
4 中期目標の大項目ごとの特記事項	5
(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組.....	5
(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組.....	5
(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するための取組.....	5
5 中期目標の項目別の状況	6
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項.....	6
1 地域完結型医療の推進.....	6
2 提供する医療サービスの充実.....	6
(1) 救急医療.....	6
(2) がん医療.....	7
(3) 小児・周産期医療.....	7
(4) 高度専門医療.....	8
(5) 政策医療.....	8
3 医療人育成体制の充実.....	9
(1) 医師の研修制度の充実.....	9
(2) 看護師・薬剤師をはじめとする医療従事者の育成の充実.....	10
4 医学研究の推進.....	12
5 医療の質の向上.....	12
(1) 施設、設備の充実.....	12
(2) 医療従事者の確保.....	12
(3) 患者サービスの向上.....	13
(4) 安全性の高い信頼される医療.....	14
(5) 臨床指標の充実及び開示.....	15
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項.....	15
1 法人としての管理運営体制の確立.....	15
(1) 適正な法人管理体制の構築.....	15

(2) 効率的な病院運営.....	15
2 人材の確保と育成	15
第4 財務内容の改善に関する事項	16
1 経営基盤の確立	16
2 収益と費用の適正化.....	16
(1) 収益の適正化	16
(2) 費用の適正化	16
第5 その他業務運営に関する重要事項.....	17
1 救急ワークステーションの充実	17
2 ボランティア制度の活用.....	17
3 分かりやすい情報発信	17
6 佐世保市地方独立行政法人法の施行に関する規則で定める事項の実施状況	17
(1) 人事に関する計画.....	17
(2) 施設及び設備に関する計画.....	17
(3) 法第40条4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に関する計画	17

地方独立行政法人佐世保市総合医療センター事業報告書

「地方独立行政法人佐世保市総合医療センターの概要」

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人佐世保市総合医療センター

(2) 所在地

佐世保市平瀬町 9 番地 3

(3) 役員の状況（平成 30 年 4 月 1 日現在）

役職名	氏名	備考
理事長	澄川 耕二	病院長
副理事長	赤瀬 隆彦	専務理事
副理事長	石川 啓	副院長
理事	早田 宏	副院長
理事	緒方 信子	副院長兼看護部長
理事	久保 次郎	佐世保市医師会会長
理事	前田 一彦	佐世保商工会議所会頭
理事	調 漸	長崎大学学長特別補佐
理事	立石 憲彦	長崎県立大学看護学科教授
監事	西村 浩太郎	税理士
監事	渡会 祐二	弁護士

(4) 設置・運営する病院

別表のとおり

(5) 職員数（平成 31 年 3 月 31 日現在）

790 人（正職員）

2 基本的な目標

「地域の基幹病院として高度な医療を総合的に提供するとともに明日を担う医療人を育成する」という理念のもと救急医療、がん医療、小児・周産期医療、高度専門医療、政策医療を医療の 5 本柱とし、地域医療機関との連携及び役割分担のもとで、地域の医療の質の向上に寄与していく。地方独立行政法人制度の特徴を生かし、最大限の努力による住民・患者へのサービスの向上と効率的な病院運営を行う。

別表

病院名	佐世保市総合医療センター	
所在地	〒857-8511 長崎県佐世保市平瀬町 9 番地 3	
設 立	平成 28 年 4 月 1 日	
病床数	総数 594 床（一般病床 570 床、結核病床 20 床、感染症病床 4 床）	
診療科目（31 科）	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、脳神経外科、心臓血管外科、小児科、産婦人科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、救急集中治療科、麻酔科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、歯科	
離島診療所	宇久診療所（病床数 17 床）、黒島診療所、高島診療所	
主な役割と機能	佐世保県北医療圏における基幹病院 ●救命救急センター ●臨床研修指定病院 ●救急告示病院 ●地域医療支援病院 ●地域がん診療連携拠点病院 ●地域周産期母子医療センター ●災害拠点病院 ●高次脳卒中センター ●エイズ治療拠点病院 ●病院機能評価（公益財団法人日本医療機能評価機構）3rdG:Ver.1.1 ●各学会認定研修病院	
敷地面積	【病院施設】 （本院） 22、894.35 m ² （宇久） 1、918.00 m ² （高島） 239.27 m ²	【公宅関係】 （本院） 2、727.86 m ² （宇久） 740.00 m ² （黒島） 105.00 m ²
建物規模	【病院関係】 （本院） 38,493.79 m ² （宇久） 1、406.51 m ² （高島） 100.75 m ²	【公宅関係】 （本院） 1、742.75 m ² （宇久） 258.10 m ² （黒島） 69.56 m ²

3 事業の統括

佐世保県北医療圏における当院の役割を果たすため、救急医療・がん医療をはじめとする高度医療の提供、医療従事者の育成、離島医療・感染症医療等の充実に努めた。高度医療の提供については、肝臓センターを立ち上げ、肝疾患に対する専門性の高い医療を提供できる体制を整えた。がん医療についても、放射線治療専門医を1名増員し、手術・化学療法・放射線治療を適切に組み合わせた集学的治療の充実に努めた。医療従事者の育成については、基幹型臨床研修医20名、協力型臨床研修医10名を受入れ、医師の育成に貢献した。

独立行政法人となって3年目を迎え、経営戦略会議、経営会議、理事会による法人としての意思決定機能が十分に発揮され、人材確保や設備投資等の重要案件について、迅速かつ柔軟性のある予算執行を行うことで、効率的かつ効果的な事業運営を行うことができた。

4 中期目標の大項目ごとの特記事項

(1) 住民に対して提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組み

地域完結型医療の推進については、地域連携センターが中心となり、地域のかかりつけ医や病院等との連携を推進し、紹介率・逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。救急医療については一次・二次医療機関、救急隊及び行政等との役割分担・連携推進ができ、より重篤な患者の受入れを行った。また、救命救急担当の医師を1名確保し、体制整備にも努めた。周産期医療については、甲状腺疾患を伴う妊婦への専門的な治療体制を充実させた。高度専門医療の提供については、MRIを最新機器に更新し、画質の向上及び撮影時間の短縮を図った。近年増加している外国人患者への対応については、長崎県が開設した24時間利用可能な多言語コールセンターによる電話通訳サービスを登録するなど、受入れ体制の強化を図った。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組み

独立行政法人となって3年目を迎え、経営戦略会議、経営会議、理事会による法人としての意思決定機能が十分に発揮され、また、内部統制の整備・確立のため、業務方法書に従い、管理体制を強化した。

(3) 財務内容の改善に関する事項への取組み

在院日数の適正化、高度医療の提供、逆紹介の推進及び新規入院患者の確保等への積極的な取り組みにより、入院及び外来の診療単価を伸ばし、医業収益の増収が図られた。

病院運営会議等において、毎月の経営指標の現状説明等を行い、費用の適正化も図りながら経営改善に取り組んだ。

5 中期目標の項目別の状況

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域完結型医療の推進

地域連携センターが中心となり、地域完結型医療を目指して、かかりつけ医との連携を推進した。その結果、紹介率 91.6%、逆紹介率 82.4%といずれも目標値を上回っており、高い水準を維持できている。また、地域医療従事者対象の研修会も定期的を開催し、地域の医療の質の向上に貢献できた。

紹介率等連携推進関係	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
紹介率 (%) 【地域医療支援病院要件 65%以上】	91.6	90.0	91.6	1.6 0
逆紹介率 (%) 【地域医療支援病院要件 40%以上】	87.7	80.0	82.4	2.4 ▲5.3
あじさいネットカルテ閲覧件数 (件)	3,040	2,400	3,482	1,082 442

地域医療従事者対象の研修会	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
① 地域医療研修会 (回数 (回)・人数 (人))	(12)626	(12)500	(8)543	(▲4)43 (▲4)▲83
② 救命救急研修会 (回数 (回)・人数 (人))	(5)243	(6)400	(6)272	(0)▲128 (1)29
③ がん関係研修会 (回数 (回)・人数 (人))	(6)326	(6)120	(7)383	(1)263 (1)57
①～③の合計【地域医療支援病院要件年 12 回以上の開催】	(23)1,195	(24)1,020	(21)1,198	(▲3)178 (▲2)3
地域連携診療計画会議 (回数 (回)・人数 (人))	(69) 186	(60) 150	(104)330	(44)180 (35)144

2 提供する医療サービスの充実

(1) 救急医療

平成 30 年度においても一次・二次医療機関との役割分担・連携推ができ、三次救急を担う医療機関として、より重篤な患者の受入を行った。また、佐世保市消防局との合同研修会も定期的実施できている。救急搬送時の救急隊との連携を強化した。救命救急担当の医師 1 名を確保し、体制整備にも努めた。

救命救急患者搬送件数	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
救急車・ヘリ搬送【受入】件数（件） 【救命救急センター要件 救急搬送受入数年 1000 回以上】	3,348	3,000	3,399	399
				51
救急車・ヘリ搬送【入院】件数（件）	2,209	2,000	2,262	262
				53
救急車・ヘリ搬送以外の救急患者【受入】件数 （件）	4,809	5,500	4,167	▲1,333
				▲642
救急車・ヘリ搬送以外の救急患者【入院】件数 （件）	1,216	1,400	1,144	▲256
				▲72

(2) がん医療

がん診療においては、放射線治療専門医を 1 名増員するとともに、平成 29 年度の機器更新により更に充実した対応が可能となり、放射線治療件数を大幅に伸ばすことができた。また、手術、外来化学療法とも目標を上回り、集学的治療を実施できた。

がん関係件数 ※がんに関する数値は、年単位で記載	平成 29 年 実績値	平成 30 年 目標値	平成 30 年 実績値	目標値差
				前年度差
がん入院患者数（実人員）（人）	3,272	3,500	3,236	▲264
				▲36
悪性腫瘍手術件数（件）	1,371	1,200	1,373	173
				2
外来化学療法件数（件）	4,079	3,500	4,328	828
				249
放射線治療法件数（件）	8,109	8,300	10,058	1,758
				1,949
がん相談件数（件）	1,621	1,400	1,268	▲132
				▲353
院内がん登録件数（件）	1,841	1,800	1,860	60
				19

地域がん診療連携拠点病院指定要件の達成

緩和ケア研修 院内研修修了者割合の達成	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
がん診療において、がん患者の主治医や担当医となる医師（%）	90.3	90.0	95.5	5.5
				5.2
初期臨床研修 2 年目から初期臨床研修終了後 3 年目までの医師（%）	86.2	100	90.7	▲9.3
				4.5

(3) 小児・周産期医療

周産期医療については、地域の産科医と連携し、ハイリスク妊娠・分娩への対応を行った。また、甲状腺疾患を伴う妊婦への専門的な治療体制を整備し、地域周産期母子医療センターとしての役割を充実させた。小児医療では、引き続き 9 名の

小児科医の配置を維持し、地域の周産期・小児医療への貢献ができた。

小児・周産期医療関係	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差	
				前年度差	
正常分娩件数（件）	16	20	15	▲5	
				▲1	
異常分娩件数（件）	296	300	291	▲9	
				▲5	
NICU 病床稼働率（%）	92.4	95.0	99.2	4.2	
				6.8	
GCU 病床稼働率（%）	52.2	70.0	63.8	▲6.2	
				11.6	
小児病棟病床稼働率（%）	57.3	65.0	49.3	▲15.7	
				▲8.0	

(4) 高度専門医療

手術件数、全身麻酔件数、MRI、CT 撮影件数は、目標値を上回ることができた。内視鏡検査・処置件数、血管造影件数は目標に届かなかったものの、件数は伸ばすことができた。

平成 30 年度はMRI を最新機器に更新し、画質の向上及び撮影時間の短縮を図ることができた。

また、肝臓センターを立ち上げ、肝疾患に対する専門性の高い医療を提供できる組織づくりをすることで、地域に貢献する体制を整えた。

手術・検査・処置件数等	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差	
				前年度差	
手術件数（件）	4,831	4,500	5,282	782	
				451	
全身麻酔件数（件）	2,451	2,300	2,552	252	
				101	
MRI 撮影件数（件）	5,823	5,000	5,945	945	
				122	
CT 撮影件数（件）	24,661	23,000	25,893	2,893	
				1,232	
内視鏡検査・処置件数（件）	5,450	6,000	5,538	▲462	
				88	
血管造影件数（件）	2,131	2,500	2,154	▲346	
				23	
人工透析件数（件）	4,380	4,200	3,795	▲405	
				▲585	

(5) 政策医療

(離島医療に関する事項)

1) 宇久診療所（一般 17 床）

- ・更新計画に基づいた医療機器等の更新（医事システム、テーブルトップ遠心機ほか 1 件）
- ・収入 286,645 千円/支出 426,986 千円（収支不足 140,341 千円）

2) 黒島診療所

- ・年度当初より常勤医師が不在となったが、診療応援体制を整え、週2回の診療体制を維持した。
- ・外来患者延数 1,694 人、収入 21,546 千円/支出 33,337 千円（収支不足 11,791 千円）

3) 高島診療所

- ・黒島診療所の応援医師の対応により、定期的（毎週月曜日）な診療体制を維持した。
- ・外来患者延数 306 人、収入 3,411 千円/支出 5,659 千円（収支不足 2,248 千円）

（結核病棟運営に関する事項）

- ・結核病棟運営による不採算経費 78,619 千円

（感染症医療に関する事項）

- ・第2種感染症病床（4床）の受入体制を確保した。
- ・感染症医療による不採算経費 36,590 千円

（災害医療に関すること）

- ・昨年度に引き続き、BCP基本計画に基づいて災害医療対策訓練を実施し、災害医療に対する体制を整えることができた。
- ・備蓄材料の経費
 - 食糧費 944 千円
 - 診療材料費 812 千円

離島・結核病棟患者数	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
宇久【入院】患者数（人）	3,872	3,500	3,391	▲109 ▲481
宇久【外来】患者数（人）	20,098	19,900	19,740	▲160 ▲358
黒島【外来】患者数（人）	1,822	1,890	1,694	▲196 ▲128
高島【外来】患者数（人）	314	320	306	▲14 ▲8
結核病棟【入院】患者数（人）	1,020	980	1,609	629 589

3 医療人育成体制の充実

（1）医師の研修制度の充実

医学生実習、基幹型臨床研修医、協力型臨床研修医は、ほぼ目標値どおりの受入れができた。専門医育成においては、専門研修認定施設を維持することができた。また、新たに始まった専門医制度における基幹施設として、形成外科、麻酔科のプログラムを開始した。

地域の医師の研修においても研修計画をたて、目標値を上回る参加があった。

① 学生教育の充実

平成 30 年度はほぼ目標値の医学生を受け入れることができ、学生教育については充分に対応できた。

医 師（学生）	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
医学生実習受入数	31	30	29	▲1
				▲2

② 研修医育成

平成 30 年度は平成 28 年度、29 年度と取り組んできた研修体制の整備や処遇の改善などにより、基幹型 20 名、協力型 10 名の受入れできた。

医 師	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
基幹型臨床研修受入数	15	22	20	▲2
				5
協力型臨床研修受入数	12	10	10	0
				▲2

③ 専門医育成

専門研修認定施設を維持することができた。また、今年度から始まった専門医制度による基幹施設の研修プログラムを構築し、長崎大学の協力施設としても取り組んだ。

医 師	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
専門研修プログラム研修施設認定取得数 (項目)	15	15	15	0
				0

④ 医師を対象とした研修会の開催

研修会参加者は目標値を上回り、地域の医療の質の向上に貢献できた。また、地域の医師と当院医師の交流を図ることで、地域連携の強化に繋がった。

医 師		平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
					前年度差
各種研修会参加者（人）	地域	72	50	73	23
					1
	院内	82	50	95	45
					13

(2) 看護師・薬剤師をはじめとする医療従事者の育成の充実

全体的な実績では、一部目標値に届いていない点もあるが概ね実施できた。

① 医療従事者の育成

職員の能力を向上させるために専門資格取得に取り組んだ。平成 30 年度は全体として専門資格を取得した職員

が増加している。地域の看護師の教育については、長崎県看護キャリア支援センターへ当院看護師を講師として派遣し、地域の看護師教育に貢献できた。

専門資格取得者	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
【看護師】 認定看護管理者（人）	1	2	1	▲1 0
【看護師】 専門・認定看護師（人）	16	16	16	0 0
【薬剤師】 専門・認定薬剤師（人）	8	8	8	0 0
【その他の医療技術者】 専門・認定医療技術者（人）	62	60	67	7 5

研修受入・派遣	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
長崎県看護キャリア支援センター講師派遣（人）	7	6	4	▲2 ▲3
地域病院 新人看護職員臨床研修（人）	0	18	0	▲18 0

②学生実習の充実

市立看護専門学校への講師派遣・学生実習受入れは要請に対し全て対応しており、学生の教育に貢献できた。

受入実績 (延人数)	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
看護学生（人）	261	300	292	▲8 31
薬学生（人）	4	4	4	0 0
医療技術系学生（人）	36	40	37	▲3 1
医療事務系学生（人）	5	5	3	▲2 ▲2

市立看護専門学校講師派遣	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
医師（人）	39	30	37	7 ▲2
看護師（人）	15	25	16	▲9 1
薬剤師（人）	1	1	0	▲1 ▲1
その他の医療技術者（人）	7	5	6	1 ▲1

③中学・高校生向けの体験・見学の充実

高校生や中学生向けの体験・見学については、平成 30 年度も佐世保市医師会との協力事業である高校生病院体験学習会を 16 名を受入れた。また、看護部においても中高生の病院見学等も受入れており、次世代を担う医療従事者の教育にも貢献できた。

4 医学研究の推進

治験の記録テンプレート作成等、品質維持のための活動を行うとともに、グローバル化や臨床研究法施行の環境変化に応じた研究活動ができ、その情報をホームページで発信できた。

医学研究関係	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
治験新規契約件数(件)	4	4	3	▲1 ▲1
臨床研究審査件数(件)	52	50	49	▲1 ▲3

5 医療の質の向上

(1) 施設、設備の充実

平成 29 年度に着手した電子カルテ等の更新が完了した。

投資計画に基づき、空調設備整備をはじめとする施設改修整備、MRI 装置等の医療機器等の整備を行い、高度急性期医療を提供するための施設・設備の環境を整えた。

また、旧内視鏡室のスペースを活かして、効率的な外来診療環境を整えた。

(2) 医療従事者の確保

人材確保については引き続き人材派遣会社を活用するなど、プロジェクト等を通じて積極的な採用活動を行った。看護師・薬剤師ほか特に早急な人員確保が必要な職種に関しては、随時試験（応募状況に応じて実施）等を実施し、早期の雇用確保に取り組んだ。

また、院内託児所を活用することにより、ワーク・ライフ・バランスに配慮した環境を整備し、子育て中の職員の就労支援に取り組んだ。

人員数	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
医師（人）	115	118	117	▲1 2
看護師（人）	507	527	504	▲23 ▲3
薬剤師（人）	20	25	19	▲6 ▲1
医療技術職（人）	85	91	91	0 6
事務職等（人）	54	60	59	▲1 5

(3) 患者サービスの向上

目標値及び昨年度実績を上回る医療相談に対応しており、患者が安心して医療を受けることに貢献できた。また、増加している外国人患者対応のため、通訳サービスの充実を図った。患者アンケートの結果を職員で共有し、院内の療養環境の改善や患者サービスの提供に努めた。

①患者中心の医療の提供

院内の各種委員会、プロジェクトチーム等で検討された事項を、月1回の病院運営会議を通じて、院内で共通認識し、課題改善に取り組んだ。

患者の抱える様々な問題に対し、多職種によるカンファレンスを行い、それぞれの立場から専門的視点で検討し、治療方針、援助方針を立てた。また、その方針の実現に向け、異なる職種のメディカルスタッフによるチーム医療を実践し、それぞれの専門スキルを活かすことで、入院中や外来通院中の患者の生活の質の維持、向上を目標に療養のサポートを行った。

②快適性の向上

平成30年10月15日～19日にかけて外来患者、入院患者に対して行った患者満足度調査のアンケート結果を職員で共有し、院内の療養環境の改善や患者サービスの提供に努めた。病棟トイレの改装、その他老朽化に伴う改装等を行い、院内の療養環境の改善に努めた。

③患者からの相談に対する対応の充実

総合相談窓口看護師、がん相談員、医療ソーシャルワーカーを配置し、医療相談・福祉相談・退院調整を行った。治療を受けるうえでの心配事や、療養、介護に関して、患者・家族が抱えている様々な問題や悩みの相談を受けている。

退院後も自宅で安心して療養ができるように、入院早期に患者・家族と大体の目標設定を共に行い、その実現に向けたチーム医療を行った。

④職員の接遇改善

職員の接遇の一層の向上のため、院外講師を招き、全職員対象とした接遇研修を実施した。参加者の満足度も高く、有意義な研修会を開催することができた。また、患者さんからの接遇に対する指摘については、職員に周知し改善に取り組んだ。

⑤患者の利便性向上

待ち時間短縮及び駐車場混雑解消のため、再診受付時間を予約時間の1時間前に変更することを決定し、平成31年4月からの実施に向け、準備を行った。自動再来受付機の規格が古く受付処理に時間がかかっていたため、リプレースを行い、再来受付に係る時間短縮を図った。

また、増加している外国人患者に対し、長崎県が開設した24時間利用可能な多言語コールセンターによる電話通訳サービスを登録し、受入体制の強化を図った。

患者サービス関係		平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
					前年度差
患者 満足度	5段階評価（平均値）	4.3/5.0	4.8/5.0	4.3/5.0	▲0.5
					0
	満足した人の割合(%)	88.8	95.0	85.7	▲9.3
					▲3.1
不満な人の割合(%)	2.5	2.0	2.0	0	
				▲0.5	
患者相談件数（がん相談除く）（件）		6,297	5,000	6,094	1,094
					▲203
職員 接遇研修	参加率(%)	34.2	40.0	37.1	▲2.9
					2.9
	満足した人の割合(%)	88.8	75.0	86.4	11.4
					▲2.4

(4) 安全性の高い信頼される医療

医療安全、院内感染対策研修会受講率は、大きく伸ばすことができた。医療法をはじめとする関係法令等の遵守のために新人職員に対してはコンプライアンス研修を行った。平成 30 年度からの業務方法書の変更にもないコンプライアンスの体制の整備に関する要綱等の整備を行った。

①集合研修会に参加できなかった職員に対して、e-learning 若しくは DVD による受講を促すことにより、98%まで受講率を上げることができた。また、医師の受講率も 92.5%と、前年を大幅に上回ることができた。

②院内感染対策講習会受講率は 98%と平成 29 年度の 94%を上回ることができた。

・インフルエンザ対策に関して入院中の患者への感染防止対策に重点をあて、平成 29 年度の 40 名から平成 30 年度は 26 名と減少できた。

・新規 MRSA 年間発生件数は、診療科の特性を踏まえた手指衛生や環境整備の指導を重点的に行ったことで平成 29 年度 63 件から平成 30 年度は 46 件と減少した。

③診療録（カルテ）等の個人情報の保護並びに情報開示については適切に行うことができた。また、手術処置等の説明を行う際の、説明書・同意書の整備を行った。施設基準の届出やMRIの更新手続きについても関係法令を遵守し適正に実施できた。

医療安全・感染対策	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
医療安全研修会受講率(%)	94	100	98	▲2
				4
院内感染対策研修会受講率(%)	94	100	98	▲2
				4

(5) 臨床指標の充実及び開示

平成 30 年度分についても、疾病統計や D P C データによる情報の公開をはじめとした臨床指標について、ホームページにより情報提供を行うことができた。

第 3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 法人としての管理運営体制の確立

(1) 適正な法人管理体制の構築

定期的に理事会を開催し、診療実績や財務状況報告を行い、運営状況を確認しながら、法人全体での事業目標達成に向けて取り組んだ。また、内部統制の整備、確立のため、業務方法書に従い、管理体制を強化した。

(2) 効率的な病院運営

経営戦略会議、経営会議を踏まえ、理事会を通じて、法人運営に関する重要事項の決定を円滑に進め、人材確保や設備投資など、迅速かつ柔軟性のある予算執行を行い、効率的かつ効果的な事業運営を行った。

2 人材の確保と育成

職員の専門性や能力を向上するための研修を計画的に実施した。院内託児所については、運用見直しを図ったことにより、利用者が徐々に増加した。

第 4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の確立

経常収支比率及び医業収支比率ともに前年度、年度計画及び中期計画の目標値の全てを上回った。収益及び費用の適正化が、その大きな要因となった。

病院運営会議において毎月の経営指標の現状説明等を行い、健全な病院運営に取り組んだ。

収支比率	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
経常収支比率(%)	100.4	101.5	102.1	0.6
				1.7
医業収支比率(%)	94.6	97.2	98.9	1.7
				4.3

2 収益と費用の適正化

(1) 収益の適正化

入院患者数及び外来患者数は、ともに前年度を下回ったが、新規入院患者の確保や在院日数の適正化等により、入院及び外来の診療単価を伸ばし、収益の確保を図ることができた。

今後も継続して、経営改善を進め、更なる収益確保対策等に取り組んでいく必要がある。

患者数等	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
(入院) 年間患者数 (人)	178,139	187,800	177,772	▲10,028
				▲367

(入院) 新規年間患者数 (人)	12,958	12,900	13,529	629
				571
(入院) 一日平均患者数 (人)	488	514	487	▲27
				▲1
(外来) 年間患者数 (人)	205,663	205,600	204,006	▲1,594
				▲1,657
(外来) 一日平均患者数 (人)	843	842	836	▲6
				▲7
(入院) 診療単価 (円)	63,061	63,600	66,467	2,867
				3,406
(外来) 診療単価 (円)	20,119	19,800	21,070	1,270
				951
病床利用率(%)	79.9	84.2	79.7	▲4.5
				▲0.2
平均在院日数 (日) ※診療所を除く	12.6	13.0	12.0	▲1.0
				▲0.6

(2) 費用の適正化

人材確保プロジェクトによる看護師確保に積極的な取り組みを行い、給与費は増加となったが、収益の適正化による医業収益の増収の影響もあり、人件費比率は、前年度、年度計画及び中期計画の目標値を達成することができた。

医薬品や診療材料の価格交渉は、継続して実施しているが、抗がん剤治療に用いる薬品費の増加や手術における診療材料の増加等により、薬品費比率及び診療材料費比率ともに、年度計画の目標値を上回った。

①適正な人件費比率の確保

人件費比率	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
人件費比率(%)	52.4	53.3	50.4	▲2.9
				▲2.0

②物件費の節減

物件費比率	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
薬品費比率(%)	17.6	15.3	17.1	1.8
				▲0.5
診療材料費比率(%)	14.3	12.9	14.7	1.8
				0.4

後発医薬品使用率	平成 28 年度 実績値	平成 30 年度 目標値	平成 30 年度 実績値	目標値差
				前年度差
後発医薬品使用率(%)	79.31	85.00	90.0	5.0
				10.69

第5 その他業務運営に関する重要事項

1 救急ワークステーションの充実

救急救命士の教育研修の充実のため、平成30年度は16名の研修・実習生を受け入れ、救急隊員の技術の向上に貢献した。

2 ボランティア制度の活用

ボランティアの人数は12名に増加し、外来・入院手続き等案内や車いす清掃、読み聞かせなど様々な活動を行った。また、ボランティア受入れのポスターについて関係機関等にも設置しており、問い合わせや申込にも繋がった。

3 分かりやすい情報発信

ホームページの活用、健康・保健知識の向上を目的とした地域住民向けの講演会の実施、広報誌の発行により、情報を発信することができた。ホームページを常に更新し、新しい情報を素早く住民へ発信できるように努めた。

市民向けの講演会を通して市民の方の健康管理や医療に関する情報の提供を行い、当院で行っている診療や病気への理解を深めもらう活動ができた。

市民向け研修会等	平成29年度	平成30年度	平成30年度	目標値差
	実績値	目標値	実績値	前年度差
健康教室（回数（回）・人数（人））	(10) 1,063	(11) 1,100	(11) 898	(0) ▲202
				(1) ▲165
市民公開講座（回数（回）・人数（人））	(1) 108	(1) 100	(1) 57	(0) ▲43
				(0) ▲51

6 佐世保市地方独立行政法人法の施行に関する規則で定める事項の実施状況

(1) 人事に関する計画

平成30年度は事務部門において6名のプロパー職員を採用し、昨年引き続き専門研修を実施した。

(2) 施設及び設備に関する計画

施設及び設備に関する計画については、入札等により事業費を抑制し、実施した。

(単位：億円)

施設及び設備の内容	実績	財源
施設整備事業	1.4	佐世保市長期借入金 1.2、自己資金 0.2
医療機器等資産の購入	6.0	佐世保市長期借入金 3.6、自己資金 2.4
電子カルテ等更新	3.5	佐世保市長期借入金 3.3、自己資金 0.2

(3) 法第40条4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に関する計画

実績なし